

# 家ができてから、帰宅時間が早くなり、 休日も家で過ごすことが多くなりました

インタビュー  
2011.7.24



リビングのソファでくつろげるS様ご一家。ご主人はここが一番のお気に入りの場所だとか



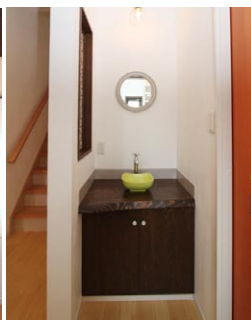
300坪ほどの広い敷地に建つS様邸。日当たりはいいし、風がよく通るので快適とのこと。バックに見えるのは井原鉄道の高架橋



ご主人こだわりの吹抜けリビング。写真は家具を置かれる前のものです



2F寝室。こちらはまだ家具を置かれる前のものです



グリーンのポウルが美しい玄関ホールの手洗い場



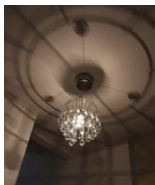
広いバスルームと浴槽。これなら家族3人でも入れそうです



リビングの一角にあるパソコンカウンター。奥様の家事コーナーとしても重宝します



お料理が楽しくなりそうな最新式のオール電化キッチン。さて、今日は何をつくろうかしら…



照明器具は雑貨屋さんで買われたものを使用。右側のクラゲのランプはご主人の後輩の作品



「実は、3月の大震災の影響で希望したキッチンの到着が大幅に遅れました。そのため、別のキッチンを使って工事を完成させ、引渡しも終えました。その後注文したキッチンが届いたので、交換の工事をしていただいたのです」と奥様。

そんな手間のかかる作業も気軽にやってくれたと、「夫婦ともに満足されています。」

住み始められて3ヶ月がすぎました。住み心地をお聞きすると、「もっと不具合があるかと思いましたが、そんなこともなく、とても快適」とご主人。

手間のかかる作業も  
気軽にやってくれました

入居後の生活や心境の変化をお聞きすると、「以前より帰宅する時間が早くなりました。休日も家にいる時間が長くなりました」とご主人。奥様も新居での家事と育児を楽しんでおられます。

思い通りの家を建てて、快適な暮らしを満喫されている、そんな雰囲気が伝わってくるようなご一家でした。

満足できる家づくりは  
多くの家を見て回ることに

S様邸を訪ねた人が、まず驚くのは広さ8帖はあるのかという吹抜けのリビング。太い梁を渡し、勾配天井には、3枚羽根のシーリングファン。「この吹抜けが私の一番こだわったところ…」とご主人が言われるのもうなずけるような出来ばえです。一方、奥様のこだわりは玄関ホールの手洗い場。

「以前住んでいたところでは、子供連れの友人が来たときなど、手を洗うのに洗面所を使っていました。でも、洗面所って洗濯物があつたりして散らかっているでしょう。そこで、玄関に手洗い場をつくってもらったのです。キッチンも奥様の希望で、天板にステンレスを使ったオープンタイプのものでした。」

「実は、3月の大震災の影響で希望したキッチンの到着が大幅に遅れました。そのため、別のキッチンを使って工事を完成させ、引渡しも終えました。その後注文したキッチンが届いたので、交換の工事をしていただいたのです」と奥様。

お二人に満足度の高い家づくりの「コツ」をお聞きしました。

「私たちの場合、大坪さんで建てることは最初から決めていました。でも、すべてを任せるのではなく、プランや内装・設備について、モデルハウスや完成見学会など多くの住宅を見て回り、目を養いながら、気に入ったところは、どんどん取り入れるようにしたのです。

色んな注文をしましたが、気軽に応じてもらいました。」

打ち合わせも繰り返しされましたが、「内装などは一回で決めてしまったほうがいいですね。何回にも分けると、逆に全体的なバランスがとれなくなったりします」と。

現在、ご夫婦と2歳の娘さんの3人家族。1階のフロアリングは「うずくり」仕上げで、素足で歩くと気持ちがいいそうです。また、1階の壁には漆喰を塗られており、とても健康的。